

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

2021年11月10日

広島電鉄株式会社（証券コード：9033）

2022年3月期第2四半期 連結経営成績

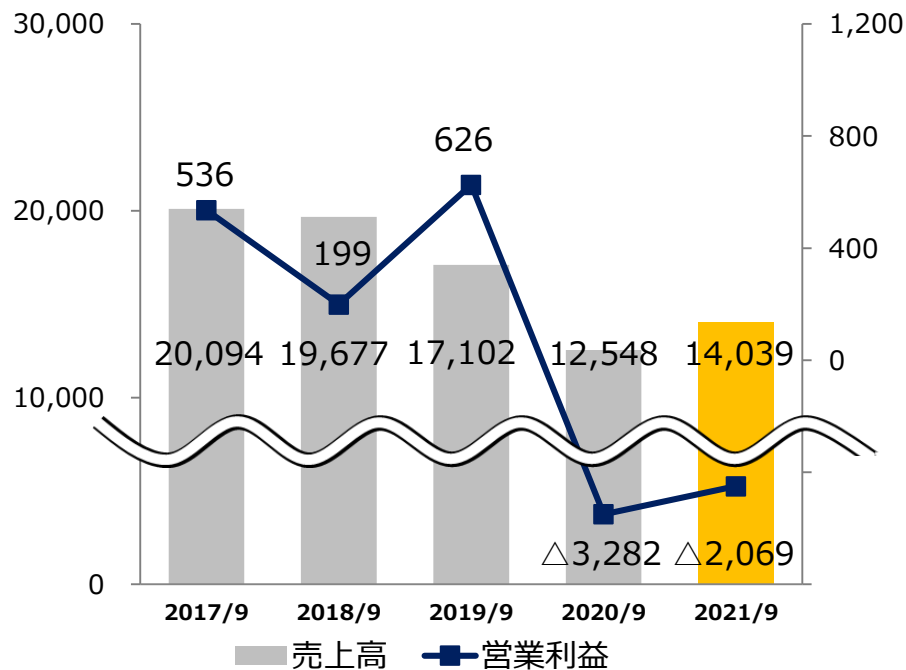
(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
売上高	12,548	14,039	+1,491 (+11.9)	不動産業において分譲マンションの販売が完了したこと等が寄与し増収となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により運輸業、流通業において需要の低迷が続いたことにより2期連続の経常損失を計上
営業利益	△3,282	△2,069	+1,213 (-)	
経常利益	△3,302	△2,058	+1,243 (-)	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△3,157	△1,320	+1,836 (-)	新型コロナウイルス感染症に係る助成金の増加と、前年度ホテル事業に係る固定資産の減損損失を計上した反動により、特別損益が改善
1株当たり 四半期純利益	△104.07円	△43.50円	+60.57円	

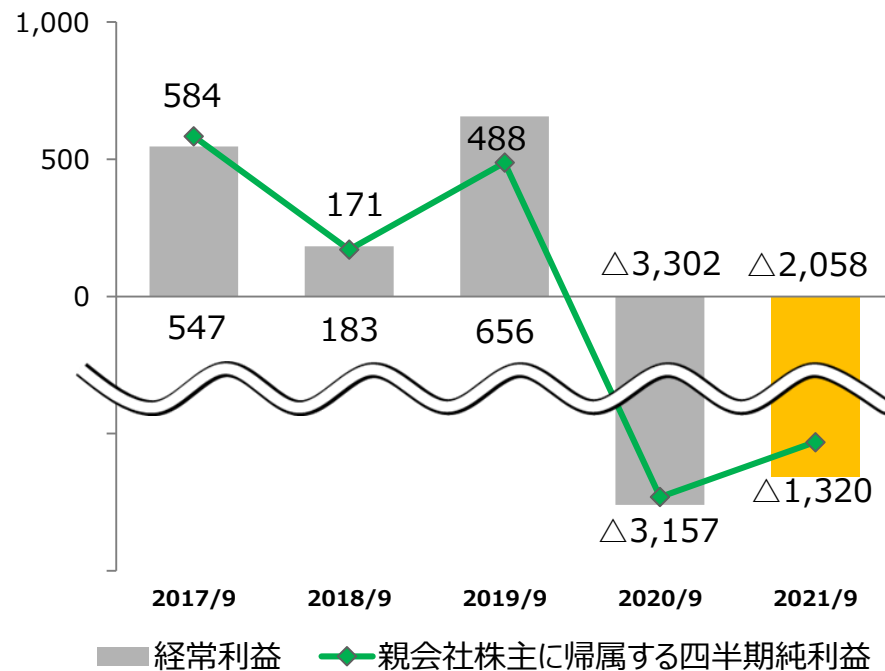
連結業績の推移 (第2四半期)

(百万円)

売上高・営業利益



経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



連結貸借対照表(B/S)

(百万円)

		2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
流	動 資 産	13,473	10,443	△3,030	現預金の減少、「ザ・府中レジデンス」販売などによる販売土地建物の減少が影響
固	定 資 産	78,648	78,658	+10	
資	産 合 計	92,121	89,101	△3,019	
負	流 動 負 債	22,558	19,313	△3,244	納税猶予分の税金の支払いや、前年度の設備投資の支払いによる未払金の減少が影響
	固 定 負 債	30,178	31,979	+1,800	長期借入金の増加
	負 債 合 計	52,737	51,292	△1,444	
純	株 主 資 本	14,237	12,879	△1,357	利益剰余金の減少
	その他の包括利益累計額	24,157	24,032	△124	保有する上場株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少
	非支配株主持分	989	896	△92	
純	資 産 合 計	39,384	37,809	△1,575	
負	債 純 資 産 合 計	92,121	89,101	△3,019	



連結損益計算書 (P/L)

(百万円)

	2021年3月 期 第2四半期	2022年3月 期 第2四半期	増減	主な増減要因
営業収益	12,548	14,039	+1,491	運輸業において厳しい状況続くも、不動産業において分譲マンション「ザ・府中レジデンス」の全戸販売が寄与し増収
運輸業等営業費及び売上原価	12,571	13,223	+651	
販売費及び一般管理費	3,259	2,885	△373	
営業損失(△)	△3,282	△2,069	+1,213	
営業外収益	255	115	△140	受託工事収入△137 受取配当金△9
営業外費用	275	104	△170	受託工事費用△137
経常損失(△)	△3,302	△2,058	+1,243	
特別利益	1,420	623	△797	受取補償金△728 運行補助金△248 コロナ助成金+160
特別損失	1,326	15	△1,310	固定資産除却・圧縮損△706 ホテル減損損失△615
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,207	△1,451	+1,756	
法人税・住民税及び事業税	89	△27	△116	
法人税等調整額	△9	△3	+6	
四半期純損失(△)	△3,287	△1,420	+1,867	
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△130	△99	+30	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,157	△1,320	+1,836	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,691	△1,212	△3,904	増収となるも、新型コロナウイルス感染症に関連して支払猶予を受けていた各種税金や社会保険料の支払いが影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,003	△2,269	△266	引き続き設備投資を行い、ほぼ前年並み
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465	2,353	+2,818	有利子負債の増加が影響
現金及び現金同等物の増減額	223	△1,128	△1,352	
現金及び現金同等物の期首残高	4,013	5,210	+1,196	
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,237	4,081	△155	

セグメント別経営成績①運輸業

(百万円)

	2021年3月 期 第2四半期	2022年3月 期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	7,052	7,321	+269 (+3.8)	新型コロナウイルス感染症の感染者の急増が続く中、引き続きお客様と従業員の安全を第一に感染防止対策の徹底と輸送の安全確保を図った 出張や観光に伴うサービス需要の縮小傾向は変わらず厳しい状況が続いたが、鉄軌道事業および自動車事業では通勤・通学定期券での輸送人員に一定程度の回復傾向が見られ、大きく落ち込んだ前年と比べ微増 海上運送業および索道業では、2度の緊急事態宣言が発出されたものの宮島への観光客は前年と比べ微増
セグメント利益	△3,895	△ 3,207	+687 (-)	
運行補助金	468	220	△248 (△53.1)	
運行補助金を 含めた損益	△3,427	△ 2,987	+440 (-)	



セグメント別経営成績②流通業

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	596	553	△42 (△7.2)	宮島口整備事業の進捗に応じて宮島口平面駐車場の営業終了に伴う減収影響があったほか、サービスエリアにおいても新型コロナウイルスの感染拡大に伴う人流の抑制や、高速道路ETC休日割引の適用除外の継続に伴う減収
セグメント利益	△88	△ 34	+53 (-)	

セグメント別経営成績③不動産業

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	2,960	4,502	+1,541 (+52.1)	不動産販売業において分譲マンション「ザ・府中レジデンス」の全戸販売が完了したこと等により増収
セグメント利益	847	1,128	+281 (+33.2)	

セグメント別経営成績④建設業

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	2,160	2,156	△3 (△0.2)	グループ向け工事や民間工事の受注増加があったものの、官公庁工事の減少が影響しほぼ横ばい
セグメント利益	133	81	△52 (△39.3)	

セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	424	407	△17 (△4.1)	ゴルフ業では新型コロナウイルス感染拡大の影響は比較的少なく増収となったが、前年度のホテル業の廃止に伴う影響により減収
セグメント利益	△285	10	+296 (-)	前年度新型コロナウイルス感染拡大を受け不採算となっていたホテル業の廃止に伴う増益

2021年度の主な設備投資予定（連結）

電車

	導入数	金額
5200形グリーンムーバー-APEX	1編成	440百万円
宮島口整備事業 (広電宮島口駅移設工事等)		296百万円

自動車

	導入数	金額
自動車事業用車両購入	21両	552百万円

不動産

	金額
(仮称) 海老山マンション新築工事	292百万円

海上運送業

	導入数	金額
新造船「伊都岐（いつき）」	1隻	475百万円



▲5200形グリーンムーバー-APEX



▲新造船「伊都岐（いつき）」

2022年3月期 連結通期業績予想

(百万円)

	2021年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売上高	25,409	27,480	+2,070 (+8.2)	運輸業では落ち込んだ前年に比べ一定程度の回復傾向がみられるほか、不動産業では分譲マンション等の販売収入があることから、増収見込
営業利益	△6,057	△4,280	+1,777 (-)	各種設備・施設の修繕計画について緊急度を再度検討し、一部実施を見送るなど費用の削減にも努めることで、各利益の下方修正幅が小幅に留まると見込む
経常利益	△6,049	△4,300	+1,749 (-)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,291	△890	+2,401 (-)	

連結業績予想の前提条件

【収入の見通し(セグメント別)】

セグメント	収 対 前 年 入 比	備 考
運 輸 業	+3%	国内旅行に伴う人流の回復を一定程度見込む 新型コロナウイルス感染拡大前の75%程度までの回復を想定
流 通 業	△5%	第2四半期までのマイナスの影響が残るが、宮島来島者数、高速道路利用者数の回復を想定
不 動 産 業	+32%	分譲マンション開発を進める「ホテルニューヒロデン跡地」の一部売却等により増収見込
建 設 業	+14%	宮島口整備事業など当社グループ向け工事の受注増加を見込
レジャー・サービス業	△9%	ゴルフ業で増収を見込むも、2021年1月末に「ホテルニューヒロデン」を営業終了した影響により減収見込

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

広島電鉄株式会社

経営管理本部 経理部 経理課

TEL 082-242-3542